

4 組合合同会議議事録

日 時	2021年10月11日 (月) 18:00～19:30	場 所	遠隔 (Zoom 使用)
参加者	大阪医科薬科大学教員・医師組合： 吉田秀司 大阪医科薬科大学労働組合： 鹿野司、大上和宏 大阪医科薬科大学薬学部教職員組合： 佐久間覚、角山香織、加藤隆児、前原都有子、友尾幸司、城下賢一 大阪医科薬科大学阿武山キャンパス職員組合： 讃木眞理子、塚田ひろみ、齋藤貴博		
議 題	1. 団体交渉の内容について 2. 次回開催について		

内 容

1. 団体交渉の内容について

法人に提出済の大阪医科薬科大学教員・医師組合の団体交渉用要求書の要求項目を題材として議論した。

・冬季賞与について

教員・医師組合は (基本給+家族手当) × 2.5 か月 + 44,000円 を要求した。
 薬学部教職員組合は9月8日の団体交渉において、冬季賞与時の加給金の増額要求はすでに行った。
 要求額については記載しなかった。
 今後、本会議での情報をもとに各組合が交渉する。

・手当について

本部キャンパスでは、昨年11月にコロナ関連手当(?)が医療従事者に対して20万円が一律支給されている。3月には医療従事者以外にも2万円程度支給されているが、薬学部ではそのような手当の支給はなかった。
 薬学部教職員組合より、本部キャンパスでは支給の実績がある学部間講義手当について、阿武山キャンパスにおける実施状況を調査し、適切な支給を法人側に求めることが述べられた。
 阿武山キャンパス職員組合から、2年前から休日出勤時に休日手当が支給されず、振替休日取得のみである旨が報告された。職員数の減少による業務過多により、平日の振替休日が取得しにくい課もあり、休日手当を復活させたいと考えている。他部署での状況について確認があり、本部キャンパスでは休日出勤し代休が取得できない場合は申請により休日手当が支給される業務もあるとの報告があった。これらを参考に休日手当の復活を検討したい。

・任期規程への無期転換申請権の明記について

薬学部教職員組合より、薬学部での任期制導入の経過について説明があった。無期転換申請権に関しては、規約を確認し対応していきたいとのことであった。

・仕事着(白衣)の支給について

医学部では毎年希望者に白衣(2枚)が支給されているが、薬学部では過去に支給されていたが現在は支給されていないと思われる。支給希望があるのであれば、薬学部でも支給を要求してはどうかとの意見があった。

・福利厚生 of 拡充について

食堂への補助金増額を要求しているが、他にも全学に適用できる福利厚生を模索し、要求を検討する。

・その他

阿武山キャンパス職員組合より職員の異動・退職により正職員数が3年間で10名減少しており、その補充の旨が報告された。現在その理由の説明とこれまで通りの正職員の確保を要求している。
 昨年度に大阪医科薬科大学教員・医師組合よりコロナ禍対応のために職員の増員を法人に要求したが、その影響があるのかもしれない。今後、業務量に応じた人員の配置を要求していく。

2. 次回開催について

団体交渉や冬季賞与支給ののち、今年度中(2月 or 3月)に次回開催を企画する。

以上